

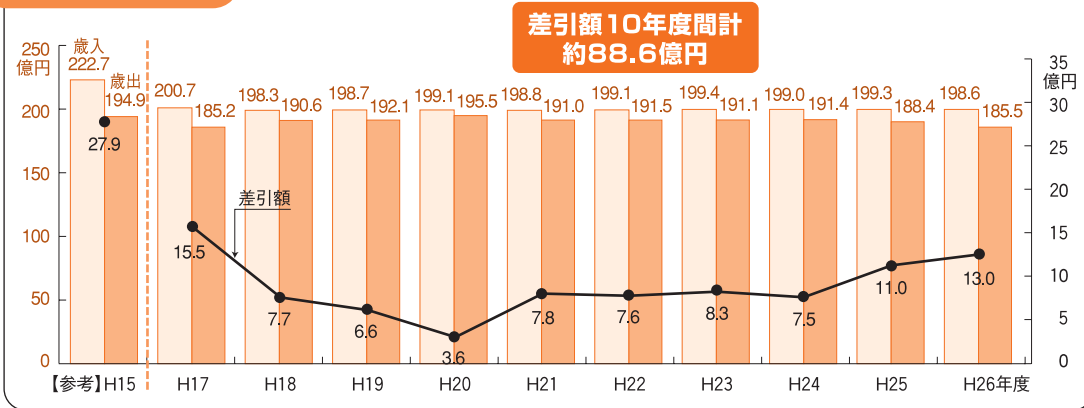
## ■合併しない場合の推計

仮に合併しない場合の財政状況を推計すると、1市2町のいずれにおいても、歳入から、経常的に見込まれる歳出を差し引いた余力は、極めて小さいことがわかります。

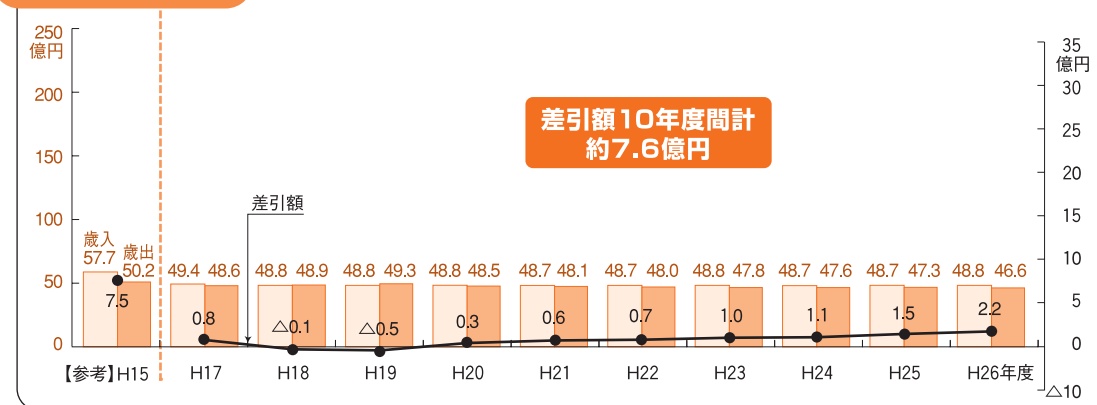
これは、1市2町が合併しない場合、道路整備や公共施設の改修、設備の更新などに振り向ける財源にすら乏しい、厳しい状況にあることを示しています。

なお、この推計においては、歳出に投資的な経費を見込まないこととし、1市2町がそれぞれ現行の組織体制とサービスの水準を維持するとともに、平成15年度における地方交付税等の制度に大きな変化がないものとして試算しました。

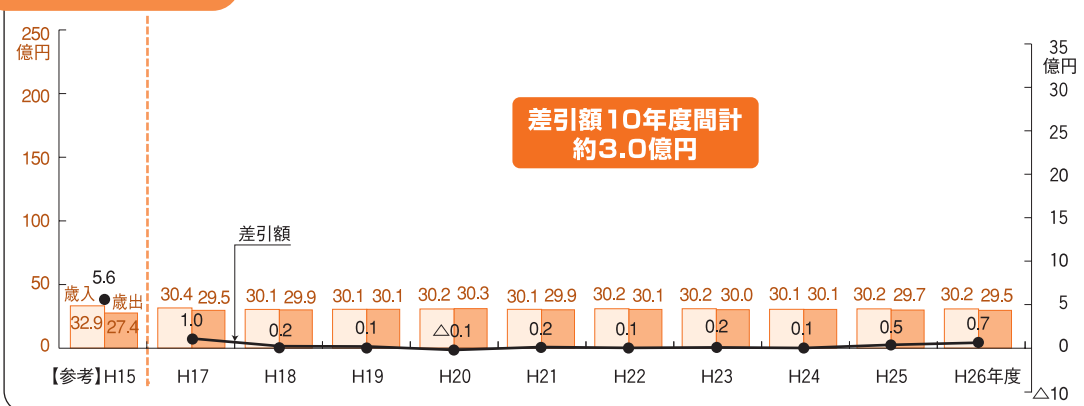
### 稲沢市の場合



### 祖父江町の場合



### 平和町の場合



差引額合計 約99.2億円

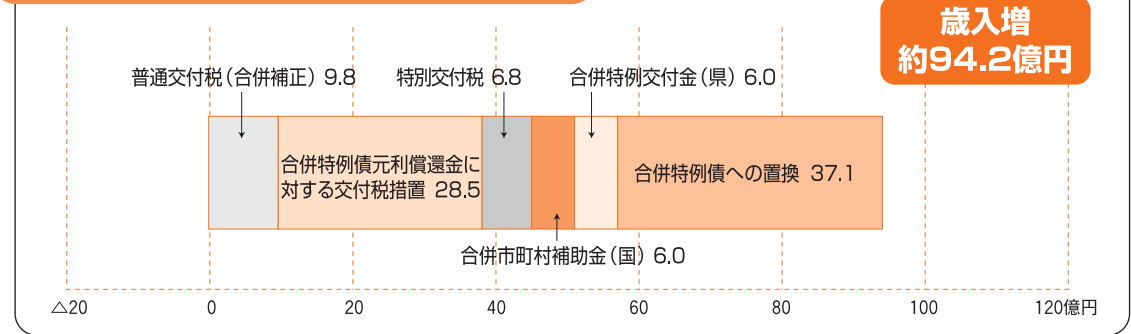
…道路整備などハード事業の財源は年平均10億円程度

※ これらの推計は、市町の歳入のうち用途が制約されていない財源（一般財源）について試算したものです。また、表示単位未満の四捨五入により、グラフ内の差し引きが一致しない場合があります。

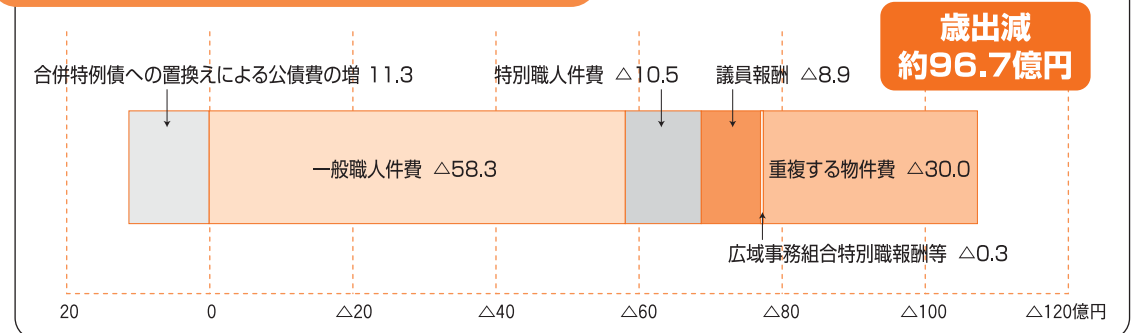
## ■財政計画にみる合併の効果・影響について

国・県の支援措置の活用や組織の合理化による人件費、物件費の削減などにより、合併後10年度間に、約94.2億円の歳入増と約96.7億円の歳出減を見込むことができます。

### 合併後10年度間の歳入影響額



### 合併後10年度間の歳出影響額



合併による新たな財源 約190.9億円

このような財源によって、次のような事業やサービスを新市において着実に実施することが可能になります。

### ■1市2町共通の課題への対応

- ごみ減量化推進事業(容器包装リサイクル法に対応した分別収集)、ごみ焼却灰等溶融化事業などの環境対策
- 1市2町の小中学校校舎の耐震補強
- 各消防署における消防車両の更新
- 祖父江斎場、平和処理場の維持補修、整備と稲沢清掃工場のオーバーホール
- 石綿セメント管(耐震対策上問題がある水道管)の更新

### ■新市の一体性を確立するための事業

- 1市2町を連絡する道路整備
- 市立図書館の建設整備
- 広域都市交流拠点における(仮称)地域交流センター整備

### ■地域の課題への対応と均衡ある発展に向けた事業

- 祖父江町域へのCATVサービスエリアの拡大
- 祖父江町における地域内主要道路整備
- 平和町における橋りょうの耐震対策、架け替え
- 祖父江町、平和町における小中学校LAN整備やパソコンの拡充などの情報教育環境整備